

TAIKO BANK

Mini Disclosure



あなたと歩む 地域とともに



大光銀行



取締役頭取

古出 哲彦

ごあいさつ

日頃より大光銀行グループをお引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

このたび、平成22年度中間期のミニディスクロージャー誌（営業の中間ご報告）を作成いたしましたので、ご案内申し上げます。決算の概況や業務内容、地域における取組みなどについてご紹介させていただいておりますので、ご高覧のうえ、当行に対するご理解を深めていただければ幸いに存じます。

さて、これまで一年以上にわたり景気は持直しを続けてきましたが、実感に乏しいうえ、足元では急速な円高や世界経済の減速などを背景に足踏み状態となるなど、景気は不安定さを増してきております。

こうした環境のもとで当行は、平成21年度よりスタートしました3カ年の第8次中期経営計画「BESTバランス・プラン」を着実に実行するとともに、当行の特色である「庶民性」「機動性」「渉外力」等を最大限に活かし、お客さまのニーズに積極的に対応することで、地域経済の発展に寄与してまいります。

何とぞ、変わらぬご支援、ご愛顧を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

平成22年11月

【行動指針】

センス スピード スピリット
3S

大光銀行は、第8次中期経営計画「BESTバランス・プラン」（平成21年度～平成23年度）において

「敏感に」(Sensibility: センス)

「迅速に」(Speed: スピード)

「熱心に」(Spirit: スピリット)

の「3S(スリーエス)」を行動指針としています。

Contents

| | | |
|-----------------|---|-------------------------|
| ごあいさつ | 1 | ■ 地域社会の発展に向けた取組み |
| ■ たいこうの経営戦略 | | お客さまニーズへの対応 |
| 第8次中期経営計画 | 2 | お客さまへの経営支援活動 |
| ■ 平成22年度中間決算の概況 | | お客さまご意見への対応 |
| 預金・貸出金・預り資産の推移 | 3 | 社会的責任(CSR)の実践 |
| 損益の状況 | 4 | ■ 平成22年度中間決算の状況 |
| 不良債権の状況 | 5 | ■ 大光銀行グループ・株主の状況/役員のご案内 |
| 自己資本比率の推移 | 5 | ■ 株式の状況・ご案内 |
| 有価証券の評価損益 | 5 | ■ 店舗一覧 |
| 外部機関による格付け | 5 | |
| ■ トピックス | | |
| 最近のニュース | 6 | |

Profile

| | |
|-------|------------------|
| 本店所在地 | 新潟県長岡市大手通一丁目5番地6 |
| 創立 | 昭和17年3月 |
| 総資産 | 1兆2,959億円 |
| 預金 | 1兆2,069億円 |
| 貸出金 | 8,591億円 |
| 資本金 | 100億円 |
| 従業員数 | 1,025人(うち出向者27人) |
| 店舗数 | 70店舗 |
| | 新潟県内 62 新潟県外 8 |

(平成22年9月30日現在)

●本資料に掲載してある計数は、原則として単位未満を切捨てのうえ表示しております。

第8次中期経営計画 (2009年4月～2012年3月)

- 当行では、平成21年4月より3ヶ年の第8次中期経営計画「BESTバランス・プラン」を推進しております。
- 当行のステークホルダー、すなわちお客さま・地域・株主各位・市場・従業員から“もっと選ばれるために”、これまで以上に広い視野を持ちながらバランスのとれた満足を提供してまいります。

第8次中期経営計画 BESTバランス・プラン

～もっと 選ばれるために～

〔2009年4月～2012年3月〕

目指す姿

経営ビジョン

- お客さま・地域から信頼され、株主・市場から信認される、存在感の高い銀行
- 従業員一人ひとりがいきいき・はつらつと輝いている銀行

計数目標 (財務の視点)

外部の視点

預金残高 (平残)

平成24年3月末目標

11,340 億円 以上

貸出金残高 (平残)

8,240 億円 以上

EPS ※1株あたり当期純利益

15 円 程度

業務プロセスの視点

ROE (業務純益ベース)

10.5 % 以上

自己資本比率 (単体)

11.4 % 以上

学習・成長の視点

スペシャリスト1級認定者数

150 名 以上

行動指針

「敏感に」(sensitivity)・「迅速に」(speed)・「熱心に」(spirit)

(外部の視点)

■基本方針(1)

社会的責任(CSR)の実践

(業務プロセスの視点)

■基本方針(2)

強固な収益性と健全性の確保

(学習・成長の視点)

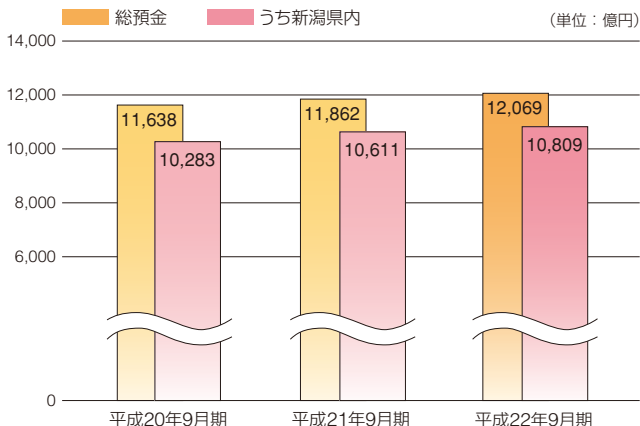
■基本方針(3)

人的戦略の強化

預金・貸出金・預り資産の推移

預金・貸出金とも順調に推移しております。

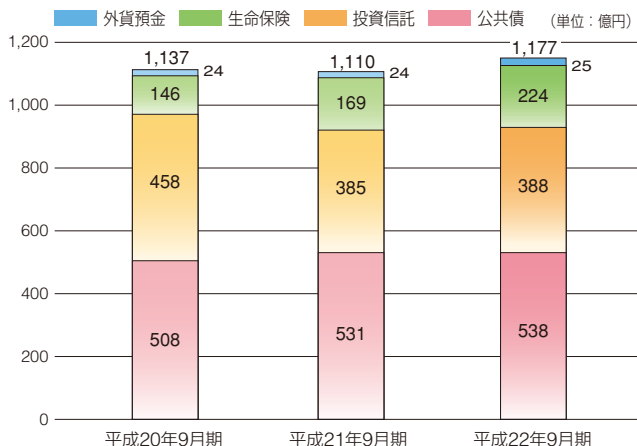
■ 預金残高



預金残高は、個人・法人預金ともに増加し、前年同期比207億円増加の1兆2,069億円となりました。

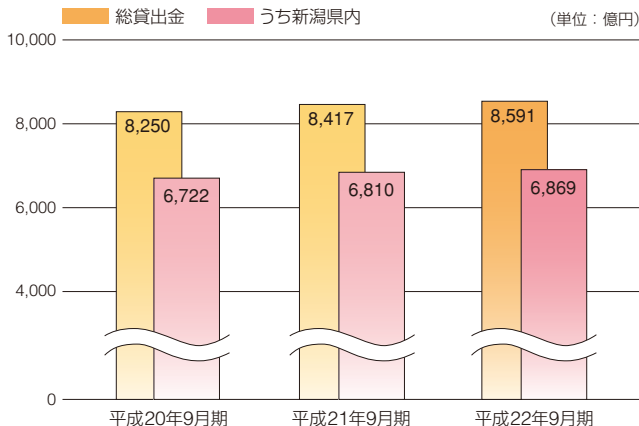
新潟県内預金残高は前年同期比198億円増加の1兆809億円であり、県内預金比率は90%です。

■ 預り資産残高



預り資産残高は、一時払終身保険等の生命保険が順調に増加したことなどから前年同期比67億円増加し、1,177億円となりました。

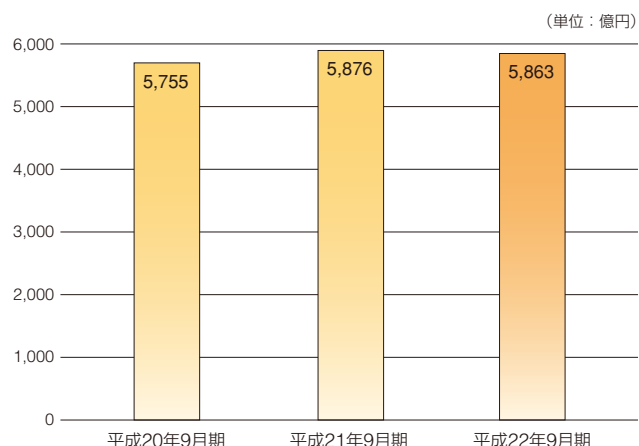
■ 貸出金残高



貸出金残高は、事業者向け貸出が増加したことなどから前年同期比174億円増加し、8,591億円となりました。

新潟県内貸出金残高は前年同期比59億円増加の6,869億円であり、県内貸出比率は80%です。

■ 新潟県内の中小企業等に対する貸出金残高の推移



平成22年9月期の新潟県内貸出金残高に占める中小企業等への貸出金の割合は、85%と高水準です。

(注)中小企業等とは、資本金3億円(ただし、卸売業は1億円、小売業、飲食業、物品賃貸業等は5千万円)以下の会社又は常用する従業員が300人(ただし、卸売業、物品賃貸業等は100人、小売業、飲食業は50人)以下の企業等であります。

損益の状況 毎期、安定して利益を計上しております。

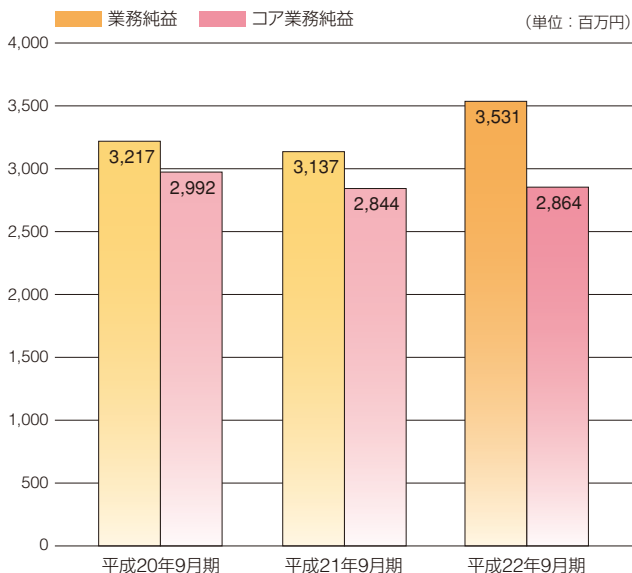
(単位：百万円)

| | 平成21年9月期 | 平成22年9月期 | 増減 |
|------------|----------|----------------|--------|
| 業務粗利益 | 10,334 | 10,196 | ▲138 |
| (国債等債券損益) | (293) | (146) | (▲147) |
| 経費 | 7,196 | 7,186 | ▲10 |
| 一般貸倒引当金繰入額 | – | ▲521 | ▲521 |
| 業務純益 | 3,137 | 3,531 | 394 |
| (コア業務純益) | (2,844) | (2,864) | (20) |
| 不良債権処理額 | 1,456 | 1,084 | ▲372 |
| 株式等関係損益 | ▲70 | ▲109 | ▲39 |
| 経常利益 | 1,280 | 2,132 | 852 |
| 中間純利益 | 906 | 1,107 | 201 |

$$\text{業務純益} = \text{業務粗利益} - \text{経費} - \text{一般貸倒引当金繰入額}$$

$$\text{コア業務純益} = \text{業務純益} + \text{一般貸倒引当金繰入額} - \text{国債等債券損益}$$

■ 業務純益・コア業務純益



〈前年同期との変動要因〉

● 業務粗利益

資金利益の減少のほか、ポートフォリオ見直しの一環で売却損を伴う債券の入替えを行い国債等債券損益(5勘定戻)が減少したことなどから、1億38百万円の減益となりました。

● 業務純益

一般貸倒引当金繰入額の戻入超過額が業務純益のプラスとして計上されたほか、役員取引等利益の増加などから、3億94百万円の増益となりました。

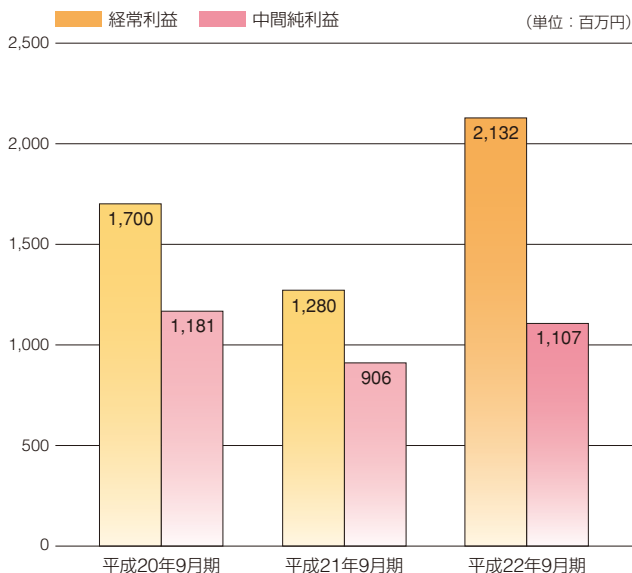
● 経常利益

業務純益の増加や不良債権処理額の減少などの増益要因が、株式等関係損益の減少などの減益要因を上回ったことから、8億52百万円の増益となりました。

● 中間純利益

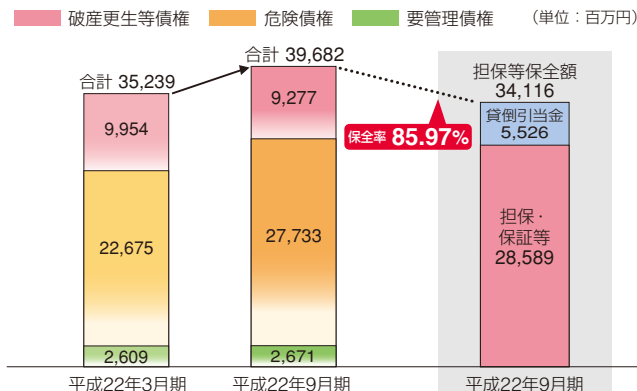
特別損益の減少や税金費用の増加といった減益要因がありましたが、2億1百万円の増益となりました。

■ 経常利益・中間純利益



不良債権の状況（単体）

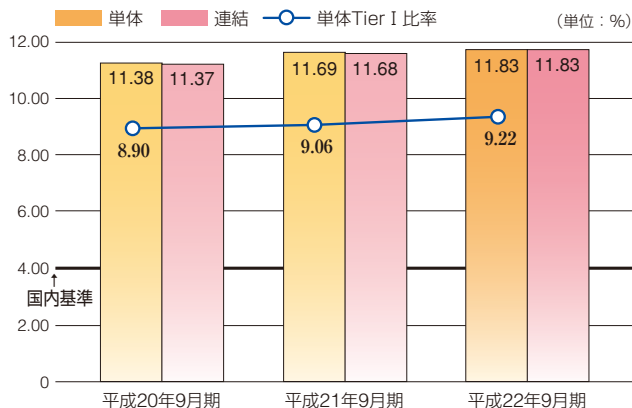
- 平成22年9月末の金融再生法に基づく開示債権額は、平成22年3月末と比較し44億円増加の396億円で、総与信額に占める割合は4.56%となりました。
- 開示債権額のうち85.97%を担保等でカバーしており、保全状況は十分な水準にあります。



不良債権比率 **4.06%** → **4.56%**

自己資本比率の推移

- 自己資本比率は、単体が前年同期比0.14ポイント、連結が同0.15ポイント上昇し、いずれも11.83%となり、高い健全性を維持しております。
- 自己資本のうち基本的項目だけで計算した単体のTier I比率は9.22%であり、引続き十分な水準を維持しております。



有価証券の評価損益（単体）

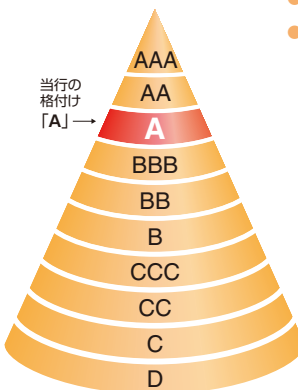
| | 平成21年9月期 | 平成22年9月期 | 増減 |
|---------|----------|----------|---------|
| 満期保有目的 | ▲ 1,783 | ▲ 1,408 | 375 |
| その他有価証券 | 4,534 | 3,479 | ▲ 1,055 |
| 株式 | 920 | 431 | ▲ 489 |
| 債券 | 5,498 | 4,876 | ▲ 622 |
| その他 | ▲ 1,885 | ▲ 1,829 | 56 |
| 合計 | 2,751 | 2,070 | ▲ 681 |

- 有価証券全体の評価損益は、変動利付国債の時価を理論価格から市場価格に見直したことから、前年同期比6億81百万円減少の20億70百万円となりました。

※平成22年9月期の有価証券の評価損益は、変動利付国債の時価を理論価格から市場価格に見直したことにより28億78百万円減少しました。

外部機関による格付け

当行は、公正な格付機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より格付けを取得しています。



- 格付け：「A」（シングルAフラット）
- 格付けの種類：長期優先債務格付け

※「A」評価とは債務履行の確実性が高く、格付機関の格付20ランク中上位6番目にあたります。

※長期優先債務格付けとは、債務者（発行体）の債務全体を捉えて、その債務履行能力を評価したものをいいます。

- 安全性が高く評価されております。

※AAからBまでの格付記号には同一等級内での相対的位置を示すものとして「+」もしくは「-」の符号による区分があります。

最近のニュース

学資保険の取扱い開始

(平成22年6月1日)

お客さまの多様な保険ニーズにお応えするため、学資保険「アフラックの夢みるこどもの学資保険」の取扱いを開始いたしました。

お子さまの進学時期にあわせ、高校入学時には「学資一時金」、大学入学時から4年間は「学資年金」を受け取れる生命保険であり、「学資一時金」と「学資年金」の総額は、払込保険料総額を上回ります。

また、ご契約者さまに万一のことがあった場合に以後の保険料のお払込みが不要となる「保険料免除特則」の付加が可能です。



期間限定商品「たいこうエコリフォームローン」の取扱い開始

(平成22年7月5日～平成23年1月31日お申込分まで)

住宅エコポイント制度の普及に伴い、住宅エコポイント発行対象工事に該当する増改築や住宅の環境対策設備の設置にかかる資金を対象としたエコリフォームローンを期間限定(平成22年7月5日から平成23年1月31日お申込分まで)で取扱いを開始いたしました。

本商品は、お客さまの「環境にやさしい暮らし」を応援するため、当行従来のリフォームローンより低い金利でご利用いただけます。また、お客さまのニーズにお応えできますよう、変動金利型と固定金利型の2種類をご用意しております。

「たいこう環境格付」および「たいこう環境融資エコライナー」の取扱い開始

(平成22年8月2日)

CO₂排出量削減に向けた取組みや環境に配慮した企業活動の取組み状況など、事業者の皆さまの環境保全への取組み度合いを評価する「たいこう環境格付」を創設し、その格付評価に応じて優遇金利を適用する「たいこう環境融資エコライナー」の取扱いを開始いたしました。

また、当行は平成22年6月29日に財団法人日本環境協会から「地球温暖化対策加速化支援無利子融資制度」の指定金融機関に選定されており、事業者の皆さまより所定の条件を充たしていただくことで、この利子補給制度を活用したプラン「エコライナーα」もご利用いただけます。



法人向けインターネットバンキング「たいこうe-バンキングⅡ」の取扱い開始

(平成22年10月1日)

インターネットに接続されているパソコンから「残高照会」や「お振込」といった銀行取引が行える法人向けインターネットバンキングサービス「たいこうe-バンキングⅡ」の取扱いを開始いたしました。



「医療・介護・福祉・保育」応援ファンドの取扱い開始

(平成22年9月6日)

日本銀行の新貸出制度である「成長基盤強化を支援するための資金供給制度」の活用にあたり、今後成長が見込める「医療・介護・福祉(保育、障がい者福祉を含む)」分野の資金需要にお応えするため、融資ファンドを創設いたしました。

お客さまニーズへの対応

事業性資金ニーズへの対応

中小事業者の皆さまの事業発展に必要な資金の安定供給に努めるとともに、幅広い資金ニーズに迅速・的確にお応えするため、融資商品等の充実に注力しております。

■ 主な事業性融資商品

| 商品名 | | 特徴 | |
|-----------------------|-------|---------------------------|---------------------|
| たいこう 事業所(V-1、V-2、V-3) | | 迅速審査、新潟県信用保証協会との提携商品 | 担保・ 第三者保証人 不要 |
| たいこう ビジネス ローン | 「繁盛」 | 原則3営業日以内に審査結果を回答 | |
| | 「繁盛Ⅲ」 | オリックス(株)保証 | |
| | 「ビジ活」 | 中小企業支援ローン | |
| たいこう TKC戦略経営者ローン | | 借入申込みのための来店不要。TKC との提携商品 | |
| たいこう 動産活用ローン | | 機械設備・車両等の動産を担保として活用する融資商品 | |



当行では、「医療・介護・福祉」・「農業」・「食品」・「環境対策関連」の4つの分野を戦略分野と位置づけ、全店をあげて積極的に取り組んでおります。

■ 戦略分野の主な融資商品

| 商品名 | | 特徴 | |
|-----------------------|----------------------------|---|---------------------|
| 「医療・介護・福祉・保育」応援ファンド | | 総額60億円の融資ファンド(取扱い期限:平成24年3月31日まで) | |
| 主な 商品 | たいこう クリニックローン | 医業向けの融資商品。1年間または2年間の元金据置可能 | |
| | 介護・福祉事業者支援ローン 「ワイドサポート」 | 医療法人・社会福祉法人・「地域密着型介護福祉施設等」の指名事業者向けの融資商品 | |
| たいこう 農業振興 支援ローン | 「豊穰」 | 農業を営む法人・個人の方向けのローン | 担保・ 第三者保証人 不要 |
| | 日本政策金融公庫提携 ローン「豊穰L」 | 日本政策金融公庫スーパーL「クイック融資」(無担保・無保証)とのセット商品 | |
| | 「豊穰α」 | 日本政策金融公庫補償付のローン | |
| | 「豊穰5000」 | 業歴3年以上の農業法人または認定農業者の方向けのローン | |
| たいこう 環境融資エコライナー | | 環境問題対策を進める企業に対する専用ローン。1年間元金据置可能 | |



お客さまニーズへの対応

個人ローンニーズへの対応

当行の5年ものスーパー定期預金300の金利に連動し、ご利用いただくお客さまとご家族の預金取引に応じて金利を引き下げる新しいタイプの住宅ローン「シリウスの輝き」のほか、お客さまのさまざまな住宅資金ニーズにお応えできる各種住宅ローン商品をご用意しております。

| 商品名 | 特徴 |
|---|---|
| 預金連動型住宅ローン「シリウスの輝き」 | 当行との預金取引に応じて金利を最大年1.0%引下げ 最高7,000万円 最長35年 |
| 全国保証(株)保証付 「住まいるいちばんプラス」 「住まいるサポート」 | 最長50年までの返済期間 最高6,000万円 最長50年 ※35年超50年以内の返済期間をご利用いただく場合には当行所定の条件を満たすことが必要となります。 |
| 三大疾病保障特約付住宅ローン | 「三大疾病(がん、急性心筋梗塞、脳卒中)・死亡・高度障害給付金の特約」が付加 最高6,000万円 最長35年 |
| たいこう 住宅ローン「たて郎くん」 | 保証料不要 最高7,000万円 最長35年 |
| たいこう 女性専用住宅ローン「たて美ちゃん」 | 原則、保証人不要。保証料不要 最高7,000万円 最長35年 |



■ 長期固定金利型住宅ローン

| 商品名 | 特徴 |
|--------|--|
| フラット35 | 住宅金融支援機構証券化支援事業(買取型)を利用 最高8,000万円 最長35年 |
| フラット50 | 住宅金融支援機構証券化支援事業(買取型)を利用 最高6,000万円 最長50年 ※長期優良住宅の認定を受けた住宅が対象となります。 |

くわしくは窓口またはお客さま担当係におたずねください。店頭にて説明書をご用意しております。

資産運用ニーズへの対応

お客さまのライフプランに合った資産運用商品を多数ご用意しております。

平成22年5月には、投資信託と定期預金のパッケージ商品「たいこう スマイルパックダブル」の取扱いを開始いたしました。

投資信託(30万円～1,000万円)のお申込と同時に定期預金をお預け入れいただきますと、投資信託のお申込金額まで定期預金の金利を上乗せする、お得な商品です。

また、店頭窓口で投資信託のみ(30万円～1,000万円)をお申込いただいたお客さまには、後日であっても「スマイルパックダブル」と同条件で定期預金をお預け入れいただける「アセットクーポン」をお渡しいたします。

※「アセットクーポン」には有効期限がございます。くわしくは窓口またはお客さま担当係におたずねください。

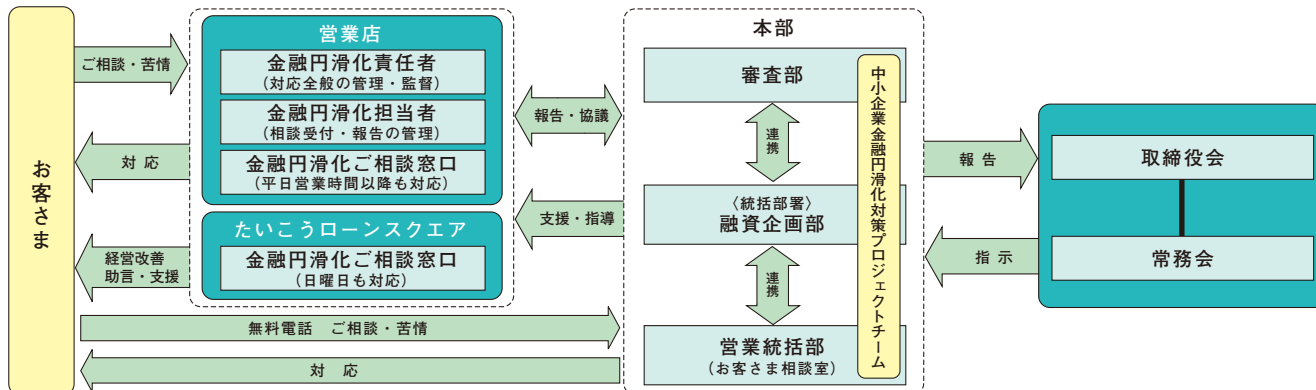


お客さまへの経営支援活動

金融円滑化に関する取組み

平成21年12月に施行された中小企業金融円滑化法の趣旨を踏まえ、平成22年1月に「金融円滑化に関する基本方針」を策定し、お客さまの事業活動の円滑な遂行や生活の安定向上に資するため迅速かつ親身な対応を行っております。金融円滑化に関する取組みにつきましては、この基本方針に則り、引き続き注力してまいります。

■ 金融円滑化に関する当行の体制図



■ 電話でのご相談受付窓口

中小企業、個人事業主のお客さまや住宅ローンをご利用のお客さまからの融資の返済方法等に関するご相談につきましては、店頭での相談受付窓口のほか、専用電話でも承っておりますので、お気軽にお申し出ください。

ご返済相談フリーコール

0120-91-7911 (通話料無料)

受付時間：銀行営業日の 9:00 ~ 17:00

ビジネス・サポートサービスの取組み

お客さまの新たな企業戦略や事業展開を行う過程で生じるさまざまな課題を迅速・的確に解決できますよう、総合的企業支援「ビジネス・サポートサービス」を取り扱っております。

お取引先の商品等の仕入れ・販売などに関するニーズを行内LANにより結びつけ、ビジネスチャンスの拡大を促進するサービス「ビジネスマッチング・ネットサービス」など、多様なサービスを取り揃えております。



お客さまご意見への対応

皆さまに一層ご満足いただける店舗づくりの参考とさせていただくため、全店舗の窓口にご意見・ご要望を記入していただく専用はがきを備え付けております。また、お客さまから直接、ご意見・ご要望をお聞きし、お応えする窓口として「お客さま相談室」を設置しております。ご遠慮なくお申し付けください。

お客さま相談室フリーコール

0120-36-4440 (通話料無料)

受付時間：銀行営業日の 9:00 ~ 17:00

環境保全への取組み

— 地域と地球のために —

世界各地で地球温暖化防止をはじめとする環境保全への取組みが行われています。

当行におきましても、地域金融機関として、

また、環境にやさしい銀行として、

CO₂ 排出量の削減に取り組むとともに環境対策を行う

お客さまを支援する商品の取扱いなど、

地球環境と未来のために、私たちにできる

さまざまな環境保全活動に取り組んでおります。

環境保全への取組み

- エネルギー使用量削減への取組み
- 環境に配慮した店舗新築
- ペーパーレス化の促進
- 資源の再利用
- エコカーの導入

環境方針

(平成21年11月2日制定)

基本理念

大光銀行は、地域とともに歩む銀行として環境保全への取組みを社会的責任と位置づけ、事業活動を通じて環境保全活動を積極的かつ継続的に展開し、「環境にやさしい銀行」を目指します。

基本方針

- 1 環境に関連する法律、規則、協定等を遵守します。
- 2 企業活動が環境に与える影響を的確に把握し、環境目的、目標を定めて取り組むとともに、定期的に見直すことで、環境保全活動の継続的な改善に努めます。
- 3 環境に配慮した金融商品、サービスの提供を通じ、環境保全に取り組むお客さまを支援します。
- 4 省資源、省エネルギー、リサイクル活動等、環境に配慮した活動の実践により、環境負荷の低減および環境汚染の防止に努めます。
- 5 この環境方針を役員職員全員に周知徹底するとともに、一般にも公表します。

安全対策

お客さまに安心してご利用いただけるよう、当行ではさまざまな安全対策を講じております。

● 振り込み詐欺の防止に向けた取組み

● ATM 画面での注意喚起

ATMで振込をされる場合、本当に必要な振込か、画面に確認メッセージを表示しております。

● 防止マットの設置

当行営業店の全キャッシュコーナーに注意喚起のマットを設置しております。

● スイングPOPのATM貼付

当行の全ATMに注意喚起のスイングPOPを貼付しております。

● 盗難・偽造キャッシュカード犯罪の防止に向けた取組み

● ICキャッシュカードの発行

お客さまのご希望により、不正読み取りや偽造が困難なICチップを搭載したICキャッシュカードを発行しております。

● ATMコーナーの防犯設備

ATMの画面に「覗き見防止フィルム(遮光フィルム)」を装着しているほか、「後方確認ミラー」と防犯カメラを設置しております。

● ATMでの暗証番号変更

ATMの操作で暗証番号をいつでも変更できます。なお、「生年月日」「電話



番号」など他人に類推されやすい番号はご使用いただけません。

● 支払限度額の変更

口座毎にATMでの1日当りの支払限度額を一定の範囲内で設定できます。

※1日当りの支払限度額は、現金支払・振替・振込の合計金額です。

● フィッシング詐欺の防止に向けた取組み

本物そっくりの偽サイトでクレジットカード番号や暗証番号などの個人情報盗み出すフィッシング詐欺の対策ソフト「フィッシュカット」を導入しております。

※「フィッシュカット」は当行のホームページより無料でダウンロードいただけます。

キャッシュカード、通帳、証書、届出印の紛失・盗難等の場合は直ちにご連絡ください。

● 平日8:50～17:10 各お取引店

(ご連絡先は15ページの「店舗一覧」をご参照ください。)

● 休日および平日の上記時間外 TEL 0258-36-4100 集中監視センター

盗難通帳およびインターネット・バンキングによる預金等の不正払戻しにより、個人のお客さまが被害に遭われた場合の補償を平成20年8月1日より開始しております。なお、お客さまに「重大な過失」もしくは「過失」があった場合や、その他の事由により補償の対象とならない場合がございます。(盗難通帳、インターネット・バンキングによる預金等の不正払戻し被害への対応の詳細につきましては、当行のホームページ <http://www.taikobank.jp/> をご参照ください。)

平成22年度中間決算の状況

■ 中間貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

| 科目 | 金額 |
|---------------|------------------|
| 資産の部 | |
| 現金預け金 | 25,943 |
| コールローン | 29,000 |
| 商品有価証券 | 86 |
| 金銭の信託 | 3,000 |
| 有価証券 | 355,587 |
| 貸出金 | 859,129 |
| 外国為替 | 4,107 |
| その他資産 | 4,793 |
| 有形固定資産 | 14,286 |
| 無形固定資産 | 743 |
| 繰延税金資産 | 5,064 |
| 支払承諾見返 | 3,309 |
| 貸倒引当金 | △ 9,116 |
| 資産の部合計 | 1,295,936 |

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|------------------|
| 負債の部 | |
| 預金 | 1,206,949 |
| コールマネー | 922 |
| 借入金 | 2,000 |
| 外国為替 | 0 |
| 社債 | 8,000 |
| その他負債 | 4,642 |
| 賞与引当金 | 835 |
| 役員賞与引当金 | 16 |
| 退職給付引当金 | 5,254 |
| 役員退職慰勞引当金 | 148 |
| 睡眠預金戻戻損失引当金 | 197 |
| 偶発損失引当金 | 460 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,427 |
| 支払承諾 | 3,309 |
| 負債の部合計 | 1,235,163 |
| 純資産の部 | |
| 資本金 | 10,000 |
| 資本剰余金 | 8,208 |
| 利益剰余金 | 38,282 |
| 自己株式 | △ 124 |
| 株主資本合計 | 56,366 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,223 |
| 土地再評価差額金 | 2,182 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,406 |
| 純資産の部合計 | 60,772 |
| 負債及び純資産の部合計 | 1,295,936 |

■ 中間損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------|---------------|
| 経常収益 | |
| 資金運用収益 | 10,696 |
| 役務取引等収益 | 992 |
| その他業務収益 | 547 |
| その他経常収益 | 136 |
| 経常費用 | 10,240 |
| 資金調達費用 | 911 |
| 役務取引等費用 | 739 |
| その他業務費用 | 389 |
| 営業経費 | 7,463 |
| その他経常費用 | 737 |
| 経常利益 | 2,132 |
| 特別利益 | 157 |
| 特別損失 | 180 |
| 税引前中間純利益 | 2,109 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 175 |
| 法人税等調整額 | 826 |
| 法人税等合計 | 1,001 |
| 中間純利益 | 1,107 |

■ 中間株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------------|---------------|
| 株主資本 | |
| 資本金 | |
| 前期末残高 | 10,000 |
| 当中間期末残高 | 10,000 |
| 資本剰余金 | |
| 前期末残高 | 8,208 |
| 当中間期末残高 | 8,208 |
| 利益剰余金 | |
| 前期末残高 | 37,385 |
| 当中間期変動額 | |
| 剰余金の配当 | △ 249 |
| 中間純利益 | 1,107 |
| 土地再評価差額金の取崩 | 38 |
| 当中間期変動額合計 | 896 |
| 当中間期末残高 | 38,282 |
| 自己株式 | |
| 前期末残高 | △ 123 |
| 当中間期変動額 | |
| 自己株式の取得 | △ 0 |
| 当中間期変動額合計 | △ 0 |
| 当中間期末残高 | △ 124 |
| 株主資本合計 | 55,470 |
| 前期末残高 | 55,470 |
| 当中間期変動額 | |
| 剰余金の配当 | △ 249 |
| 中間純利益 | 1,107 |
| 自己株式の取得 | △ 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | 38 |
| 当中間期変動額合計 | 896 |
| 当中間期末残高 | 56,366 |
| 評価・換算差額等 | |
| その他有価証券評価差額金 | |
| 前期末残高 | 3,799 |
| 当中間期変動額 | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △ 1,575 |
| 当中間期変動額合計 | △ 1,575 |
| 当中間期末残高 | 2,223 |
| 土地再評価差額金 | |
| 前期末残高 | 2,220 |
| 当中間期変動額 | |
| 土地再評価差額金の取崩 | △ 38 |
| 当中間期変動額合計 | △ 38 |
| 当中間期末残高 | 2,182 |
| 評価・換算差額等合計 | |
| 前期末残高 | 6,019 |
| 当中間期変動額 | |
| 土地再評価差額金の取崩 | △ 38 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △ 1,575 |
| 当中間期変動額合計 | △ 1,613 |
| 当中間期末残高 | 4,406 |
| 純資産合計 | 61,489 |
| 前期末残高 | 61,489 |
| 当中間期変動額 | |
| 剰余金の配当 | △ 249 |
| 中間純利益 | 1,107 |
| 自己株式の取得 | △ 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | — |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △ 1,575 |
| 当中間期変動額合計 | △ 717 |
| 当中間期末残高 | 60,772 |

■ 中間連結貸借対照表

(平成22年9月30日現在)

| 科目 | 金額 |
|---------------|------------------|
| 資産の部 | |
| 現金預け金 | 25,943 |
| コールローン及び買入手形 | 29,000 |
| 商品有価証券 | 86 |
| 金銭の信託 | 3,000 |
| 有価証券 | 355,672 |
| 貸出金 | 859,047 |
| 外国為替 | 4,107 |
| その他資産 | 5,772 |
| 有形固定資産 | 14,288 |
| 無形固定資産 | 754 |
| 繰延税金資産 | 5,185 |
| 支払承諾見返 | 3,309 |
| 貸倒引当金 | △ 9,384 |
| 資産の部合計 | 1,296,782 |

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|--------------------|------------------|
| 負債の部 | |
| 預金 | 1,206,917 |
| コールマネー及び売渡手形 | 922 |
| 借入金 | 2,000 |
| 外国為替 | 0 |
| 社債 | 8,000 |
| その他負債 | 5,014 |
| 賞与引当金 | 841 |
| 役員賞与引当金 | 16 |
| 退職給付引当金 | 5,271 |
| 役員退職慰労引当金 | 148 |
| 睡眠預金払戻損失引当金 | 197 |
| 偶発損失引当金 | 460 |
| 利息返還損失引当金 | 46 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 2,427 |
| 支払承諾 | 3,309 |
| 負債の部合計 | 1,235,570 |
| 純資産の部 | |
| 資本金 | 10,000 |
| 資本剰余金 | 8,208 |
| 利益剰余金 | 38,457 |
| 自己株式 | △ 124 |
| 株主資本合計 | 56,541 |
| その他有価証券評価差額金 | 2,223 |
| 土地再評価差額金 | 2,182 |
| 評価・換算差額等合計 | 4,406 |
| 少数株主持分 | 263 |
| 純資産の部合計 | 61,211 |
| 負債及び純資産の部合計 | 1,296,782 |

■ 中間連結株主資本等変動計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|-----------------------|---------------|
| 株主資本 | |
| 資本金 | |
| 前期末残高 | 10,000 |
| 当中間期末残高 | 10,000 |
| 資本剰余金 | |
| 前期末残高 | 8,208 |
| 当中間期末残高 | 8,208 |
| 利益剰余金 | |
| 前期末残高 | 37,541 |
| 当中間期変動額 | |
| 剰余金の配当 | △ 249 |
| 中間純利益 | 1,126 |
| 土地再評価差額金の取崩 | 38 |
| 当中間期変動額合計 | 915 |
| 当中間期末残高 | 38,457 |
| 自己株式 | |
| 前期末残高 | △ 123 |
| 当中間期変動額 | |
| 自己株式の取得 | △ 0 |
| 当中間期変動額合計 | △ 0 |
| 当中間期末残高 | △ 124 |
| 株主資本合計 | 55,626 |
| 前期末残高 | |
| 当中間期変動額 | |
| 剰余金の配当 | △ 249 |
| 中間純利益 | 1,126 |
| 自己株式の取得 | △ 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | 38 |
| 当中間期変動額合計 | 915 |
| 当中間期末残高 | 56,541 |
| 評価・換算差額等 | |
| その他有価証券評価差額金 | |
| 前期末残高 | 3,799 |
| 当中間期変動額 | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △ 1,575 |
| 当中間期変動額合計 | △ 1,575 |
| 当中間期末残高 | 2,223 |
| 土地再評価差額金 | |
| 前期末残高 | 2,220 |
| 当中間期変動額 | |
| 土地再評価差額金の取崩 | △ 38 |
| 当中間期変動額合計 | △ 38 |
| 当中間期末残高 | 2,182 |
| 評価・換算差額等合計 | |
| 前期末残高 | 6,019 |
| 当中間期変動額 | |
| 土地再評価差額金の取崩 | △ 38 |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △ 1,575 |
| 当中間期変動額合計 | △ 1,613 |
| 当中間期末残高 | 4,406 |
| 少数株主持分 | |
| 前期末残高 | 265 |
| 当中間期変動額 | |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △ 1 |
| 当中間期変動額合計 | △ 1 |
| 当中間期末残高 | 263 |
| 純資産合計 | 61,911 |
| 前期末残高 | |
| 当中間期変動額 | |
| 剰余金の配当 | △ 249 |
| 中間純利益 | 1,126 |
| 自己株式の取得 | △ 0 |
| 土地再評価差額金の取崩 | — |
| 株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額) | △ 1,577 |
| 当中間期変動額合計 | △ 699 |
| 当中間期末残高 | 61,211 |

■ 中間連結損益計算書

(平成22年4月1日から平成22年9月30日まで)

(単位:百万円)

| 科目 | 金額 |
|----------------|---------------|
| 経常収益 | |
| 資金運用収益 | 10,740 |
| 役員取引等収益 | 1,060 |
| その他業務収益 | 588 |
| その他経常収益 | 152 |
| 経常費用 | 10,389 |
| 資金調達費用 | 912 |
| 役員取引等費用 | 761 |
| その他業務費用 | 389 |
| 営業経費 | 7,513 |
| その他経常費用 | 812 |
| 経常利益 | 2,152 |
| 特別利益 | 157 |
| 特別損失 | 180 |
| 税金等調整前中間純利益 | 2,130 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 192 |
| 法人税等調整額 | 811 |
| 法人税等合計 | 1,003 |
| 少数株主損益調整前中間純利益 | 1,126 |
| 少数株主損失(△) | △ 0 |
| 中間純利益 | 1,126 |

大光銀行グループの状況

(平成22年9月30日現在)

■ 連結子会社

| 会社名 | 事業の内容 | 設立年月日 | 資本金 (百万円) | 当行の 議決権比率 (%) | グループ会社の 議決権比率 (%) |
|--------------------------------------|--------------------------|----------------|--------------|---------------------|-------------------------|
| 株式会社 大光ビジネスサービス 長岡市東坂之上町一丁目2-3 | 銀行 従属業務 | 昭和61年 2月25日 | 10 | 100.0 | 0.0 |
| たいこうカード 株式会社 長岡市東坂之上町一丁目2-6 | クレジット カード業務 信用保証業務 | 平成29年 6月29日 | 35 | 45.1 | 0.0 |

■ 持分法適用関連会社

| 会社名 | 事業の内容 | 設立年月日 | 資本金 (百万円) | 当行の 議決権比率 (%) | グループ会社の 議決権比率 (%) |
|--------------------------------------|-------------|-----------------|--------------|---------------------|-------------------------|
| 大光リース株式会社 長岡市城内町二丁目5-3 | 総合リース 業務 | 昭和49年 10月21日 | 270 | 5.0 | 34.5 |
| 株式会社 東北バンキングシステムズ 山形市清住町二丁目7-1 | データ処理 業務 | 平成7年 12月12日 | 60 | 28.4 | 0.0 |

株主の状況 (上位10先)

(平成22年9月30日現在)

| 氏名または名称 | 住所 | 持株数 (千株) | 持株比率 (%) |
|---------------------------------|------------------------|-------------|-------------|
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口4) | 東京都中央区 晴海一丁目8番11号 | 5,400 | 5.42 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口) | 東京都中央区 晴海一丁目8番11号 | 5,000 | 5.01 |
| 日新火災海上保険株式会社 | 東京都千代田区 神田駿河台二丁目3番地 | 2,594 | 2.60 |
| 大光従業員持株会 | 新潟県長岡市 大手通一丁目5番地6 | 2,577 | 2.58 |
| 株式会社みずほコーポレート銀行 | 東京都千代田区 丸の内一丁目3番3号 | 2,075 | 2.08 |
| 第一生命保険株式会社 | 東京都千代田区 有楽町一丁目13番1号 | 1,908 | 1.91 |
| 株式会社東和銀行 | 群馬県前橋市 本町二丁目12番6号 | 1,480 | 1.48 |
| 野村信託銀行株式会社 (投信口) | 東京都千代田区 大手町二丁目2番2号 | 1,443 | 1.44 |
| 株式会社大東銀行 | 福島県郡山市 中町19番1号 | 1,424 | 1.42 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 東京都千代田区 丸の内二丁目1番1号 | 1,395 | 1.40 |
| 上位10社合計 | | 25,296 | 25.39 |

(注) 持株比率は自己株式(385千株)を除いて計算しております。

役員のご案内

(平成22年9月30日現在)

■ 取締役

| | |
|---------------|--------|
| 取締役頭取 (代表取締役) | 古出 哲彦 |
| 専務取締役 (代表取締役) | 小坂井 寛明 |
| 常務取締役 | 大島 勉 |
| 常務取締役 | 吉田 忠夫 |
| 取締役 | 岩崎 道雄 |
| 取締役 | 加納 敏雄 |
| 取締役 | 佐藤 盤 |
| 取締役 | 田沢 公英 |
| 取締役 | 小池 昭夫 |
| 取締役 | 小出 友吉 |

■ 監査役

| | |
|-------|-------|
| 常勤監査役 | 向田 正夫 |
| 常勤監査役 | 内藤 右一 |
| 監査役 | 関田 雅弘 |
| 監査役 | 小林 彰 |

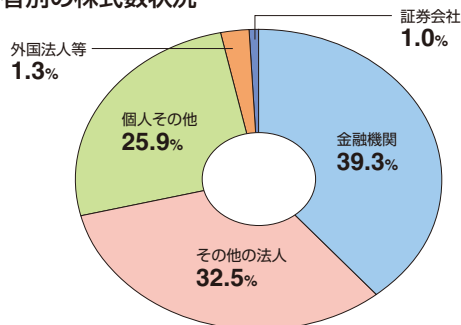
(注) 監査役関田雅弘及び監査役小林彰の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

株式の状況

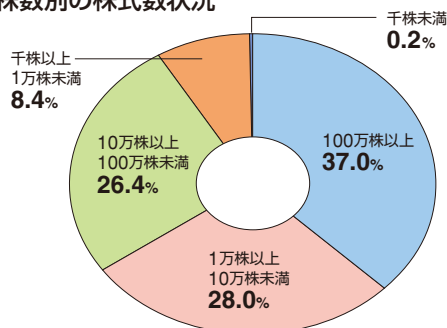
(平成 22年9月30日現在)

| | |
|-------------|-----------|
| ● 発行する株式の総数 | 200,000千株 |
| ● 発行済株式の総数 | 100,014千株 |
| ● 株主数 | 4,851名 |

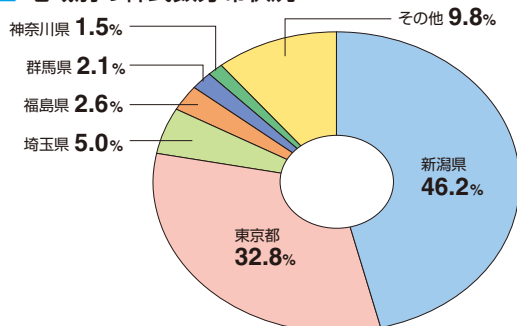
所有者別の株式数状況



所有株数別の株式数状況



地域別の株式数分布状況



株式のご案内

- **事業年度**
毎年4月1日から翌年3月31日までの1年といたします。
- **定時株主総会**
毎年6月に開催いたします。
- **基準日**
3月31日
- **中間配当基準日**
9月30日
- **公告方法**
電子公告により行います。
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
当行ホームページアドレス <http://www.taikobank.jp/>
- **株主名簿管理人**
日本証券代行株式会社
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
- **同事務取扱場所**
日本証券代行株式会社 本店
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
●郵便物送付先 〒137-8650 東京都江東区塩浜二丁目8番18号
●お問合せ先 日本証券代行株式会社 代理人部
フリーダイヤル 0120-707-843

〈各種手続のお申出先〉

- 未払配当金のお支払いについては、株主名簿管理人にお申出ください。
- 住所変更、単元未満株式の買取・買増、配当金受取方法の指定等
証券会社をご利用の株主さまは、お取引の証券会社へお申出ください。
証券会社をご利用でない株主さまは、特別口座の口座管理機関である日本証券代行へお申出ください。

特別口座でのお手続用紙のご請求はインターネットでもお受けいたしております。

ホームページアドレス

<http://www.jsa-hp.co.jp/name/index.html>

(一部の用紙は、お手持ちのプリンターで印刷できます。)

店舗一覧 (平成22年11月末現在)

新潟県 (キャッシュサービスコーナーは土・日・祝日もご利用いただけます。)

長岡地区

| 店舗名 | 住所 | 電話 |
|--------|---------------------|--------------|
| 本店営業部 | 長岡市大手通一丁目5番地6 | 0258-36-4000 |
| 神田支店 | 長岡市神田町二丁目2番地17 | 0258-35-1414 |
| 千手支店 | 長岡市表町一丁目4番地11 | 0258-33-4440 |
| 長岡東支店 | 長岡市四郎丸三丁目5番6号 | 0258-34-2330 |
| 関原支店 | 長岡市関原町三丁目字北側甲198番地1 | 0258-46-3171 |
| 希望が丘支店 | 長岡市大山西二丁目6番地6 | 0258-27-4721 |
| 長岡西支店 | 長岡市下柳三丁目1番21号 | 0258-28-0231 |
| 中沢支店 | 長岡市中沢三丁目60番2 | 0258-36-7411 |
| 新保支店 | 長岡市新保一丁目9番6号 | 0258-24-1919 |
| 宮内支店 | 長岡市宮内三丁目11番6号 | 0258-35-4611 |
| 与板支店 | 長岡市与板町与板223番地1 | 0258-72-3155 |
| 越後川口支店 | 長岡市東川口1979番地282 | 0258-89-4151 |

新潟地区

| | | |
|--------|----------------------|--------------|
| 新潟支店 | 新潟市中央区西堀前通七番町919番地 | 025-223-4121 |
| 沼垂支店 | 新潟市中央区沼垂東四丁目8番35号 | 025-245-2271 |
| 新潟駅前支店 | 新潟市中央区東大通一丁目7番15号 | 025-245-1301 |
| 学校町支店 | 新潟市中央区学校町通二番町568番地20 | 025-265-3111 |
| 近江支店 | 新潟市中央区上近江四丁目2番16号 | 025-284-6171 |
| 小針支店 | 新潟市西区小針上山10番22号 | 025-231-2281 |
| 小針南支店 | 新潟市西区小針七丁目17番25号 | 025-230-5511 |
| 寺尾支店 | 新潟市西区寺尾西三丁目26番1号 | 025-268-4111 |
| 平和台支店 | 新潟市西区五十嵐中島五丁目2番27号 | 025-262-2261 |
| 内野支店 | 新潟市西区内野町1007番地2 | 025-262-5151 |
| 大形支店 | 新潟市東区寺山三丁目1番8号 | 025-271-6621 |
| 山ノ下支店 | 新潟市東区北葉町1番7号 | 025-273-5411 |
| 河渡支店 | 新潟市東区太平四丁目1番6 | 025-273-6121 |
| 新潟駅南支店 | 新潟市中央区米山三丁目14番38号 | 025-245-5171 |
| 石山支店 | 新潟市東区粟山一丁目19番19号 | 025-277-5511 |
| 大野支店 | 新潟市西区大野町3256番地 | 025-377-2701 |

| | | |
|-------|---------------------|--------------|
| 亀田支店 | 新潟市江南区亀田本町二丁目1番34号 | 025-381-1122 |
| 白根支店 | 新潟市南区白根字十人割2295番地 | 025-372-2171 |
| 新津支店 | 新潟市秋葉区新津本町二丁目4番5号 | 0250-22-4121 |
| 新津西支店 | 新潟市秋葉区新津4443番地4 | 0250-24-8181 |
| 小須戸支店 | 新潟市秋葉区小須戸字町浦3385番地1 | 0250-38-3211 |
| 巻支店 | 新潟市西蒲区巻甲2204番地1 | 0256-72-3266 |
| 豊栄支店 | 新潟市北区石動一丁目17番地13 | 025-387-1400 |

下越地区

| | | |
|--------|------------------|--------------|
| 五泉支店 | 五泉市駅前一丁目10番13号 | 0250-43-3944 |
| 村松支店 | 五泉市村松甲1754番地 | 0250-58-6154 |
| 水原支店 | 阿賀野市中央町二丁目6番22号 | 0250-62-2830 |
| 安田支店 | 阿賀野市保田1821番地7 | 0250-68-4233 |
| 津川支店 | 東蒲原郡阿賀町津川3472番地1 | 0254-92-2460 |
| 新発田支店 | 新発田市諏訪町二丁目4番22号 | 0254-22-3741 |
| 新発田西支店 | 新発田市西園町一丁目3番4号 | 0254-26-1241 |
| 中条支店 | 胎内市東本町24番22号 | 0254-43-5337 |
| 村上支店 | 村上市大町1番12号 | 0254-53-3161 |

中越地区

| | | |
|-------|----------------|--------------|
| 三条支店 | 三条市本町三丁目6番25号 | 0256-32-1111 |
| 東三条支店 | 三条市一ノ門二丁目1番22号 | 0256-32-3211 |
| 吉田支店 | 燕市吉田日之出町3番18号 | 0256-93-3121 |
| 燕支店 | 燕市燕3007番地 | 0256-63-3195 |
| 見附支店 | 見附市本町一丁目1番33号 | 0258-62-1660 |
| 加茂支店 | 加茂市穀町8番38号 | 0256-52-1212 |
| 柏崎支店 | 柏崎市西本町一丁目3番15号 | 0257-22-5256 |
| 柏崎南支店 | 柏崎市日吉町3番17号 | 0257-24-8181 |
| 十日町支店 | 十日町市字239番地1 | 025-752-3591 |
| 中里支店 | 十日町市上山己3083番地3 | 025-763-3431 |
| 六日町支店 | 南魚沼市六日町2102番地1 | 025-772-2570 |

| | | |
|-------|----------------|--------------|
| 小出支店 | 魚沼市小出島484番地 | 025-792-1144 |
| 小千谷支店 | 小千谷市本町二丁目2番25号 | 0258-83-3551 |

上越地区

| | | |
|-------|----------------|--------------|
| 高田支店 | 上越市本町三丁目1番5号 | 025-523-6151 |
| 直江津支店 | 上越市五智一丁目3番27号 | 025-544-1022 |
| 糸魚川支店 | 糸魚川市大町二丁目5番10号 | 025-552-0720 |

佐渡地区

| | | |
|-------|---------------|--------------|
| 兩津支店 | 佐渡市両津東30番地 | 0259-27-3161 |
| 佐和田支店 | 佐渡市河原田本町209番地 | 0259-57-2188 |

群馬県 (キャッシュサービスコーナーは土曜日にもご利用いただけます。)

| | | |
|------|---------------|--------------|
| 前橋支店 | 前橋市石倉町二丁目5番地3 | 027-251-6611 |
|------|---------------|--------------|

埼玉県 (キャッシュサービスコーナーは土曜日にもご利用いただけます。)

| | | |
|------|--------------------|--------------|
| 川口支店 | 川口市本町三丁目6番22号 | 048-224-2111 |
| 大宮支店 | さいたま市大宮区土手町三丁目13番地 | 048-644-2111 |
| 上尾支店 | 上尾市柏座二丁目8番6号 | 048-776-2771 |
| 桶川支店 | 桶川市泉一丁目8番15号 | 048-787-4511 |
| 鴻巣支店 | 鴻巣市雷電一丁目3番38号 | 048-541-7111 |

東京都

| | | |
|------|-----------------|--------------|
| 東京支店 | 豊島区西池袋三丁目28番13号 | 03-3988-1221 |
|------|-----------------|--------------|

神奈川県

| | | |
|------|----------------|--------------|
| 横浜支店 | 横浜市中区本町四丁目43番地 | 045-662-8621 |
|------|----------------|--------------|

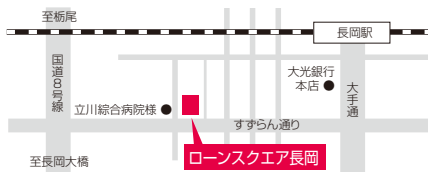
※ 東京支店・横浜支店を除く全店にキャッシュサービスコーナーを設置しております。

ローンスクエアのご案内

住宅ローンなどのご相談に専門スタッフがお応えいたします。 〈営業時間〉 ・日曜日/10:00～17:00 ・平日/10:00～18:00

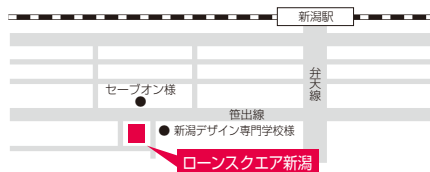
長岡地区 ローンスクエア長岡 (神田支店 2F)

〒940-0052 長岡市神田町二丁目2番地17
TEL 0120-937-411 (通話料無料)



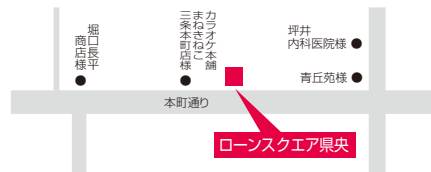
新潟地区 ローンスクエア新潟 (新潟駅南支店隣接)

〒950-0916 新潟市中央区米山三丁目14番38号
TEL 0120-974-585 (通話料無料)



県央地区 ローンスクエア県央 (三条支店内)

〒955-0071 三条市本町三丁目6番25号
TEL 0120-557-500 (通話料無料)



株式会社 大光銀行 総合企画部

〒940-8651 新潟県長岡市大手通一丁目5番地6

ホームページアドレス <http://www.taikobank.jp/>

E-mail : sogokikaku@taikobank.jp

発行/平成22年11月

〈当行が契約している指定紛争解決機関〉

全国銀行協会

連絡先：全国銀行協会相談室

電話番号：0570-017109 または 03-5252-3772

大光銀行はチャレンジ25キャンペーンに参加しています。

未来が変わる。日本が変わる。 **チャレンジ 25**